

「第9回ニュートリノ工場・大強度ニュートリノビームの国際会議」開催

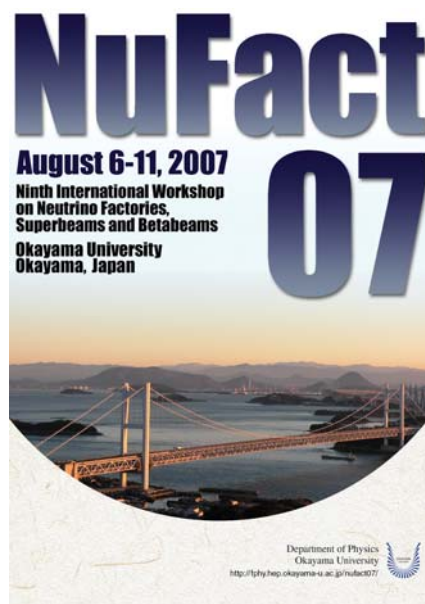
日時:平成19年8月6—11日

場所:岡山大学50周年記念ホール

主催:岡山大学自然科学研究科(理学)物理学科 作田 誠

後援:日本学術振興会、インド科学技術庁、岡山大学

概要:1998年のスーパーカミオカンデ実験のニュートリノ振動の発見以来、2002年には少なくとも2種類のニュートリノ振動現象が確認された。ニュートリノ振動を起こすニュートリノの質量と混合の存在は、宇宙・素粒子物理を解く鍵であり、ニュートリノ物理は、これから20年間、世界の素粒子物理の大きなテーマである。この国際会議は、将来のニュートリノビームとその物理を開発する第一線のニュートリノ物理研究者が色々な国から150人くらい参加する中規模の会議である。このたび、この会議は、経済と科学の両面で発展著しいインドと共同セミナー(日本・インド共催)として、学術振興会の国際交流事業に採択された。岡山大学はこの会議を世界の最先端の結果の情報交換の場として提供することで世界のニュートリノ物理業界に寄与できると共に、この会議を自身の岡山大学の研究の宣伝の場として活用したい。この国際会議の後、アジアでは大変質の高いインドとの研究者及び学生の更なる交流が期待できる。



(平成19年5月24日、定期記者発表資料 連絡先 作田 誠 TEL:086-251-7822)

参考:この会議は、以下のように毎年、ヨーロッパ、北米、アジアの順に主要な研究機関で開催されている。

第1回 NuFact99: Institut de Physique Nucléaire de Lyon (リヨン、フランス)

第2回 NuFact00: カリフォルニア大学バークレー校 (バークレー, USA)

第3回 NuFact01: 文部科学省 KEK (つくば、日本)

第4回 NuFact02: オックスフォード・ラザフォード研究所 (ロンドン、英国)

第5回 NuFact03: コロンビア大学 (NY, USA)

第6回 NuFact04: 大阪大学 (大阪、日本)

第7回 NuFact05: フラスカティ研究所 (ローマ、イタリア)

第8回 NuFact06: カリフォルニア大学・アーバイン校 UCI (アーバイン, USA)

第9回 NuFact07: 岡山大学 (岡山、日本) 予定。